



ニュースリリース

Khronos Group、OpenGL 4.1 を発表

OpenGL 4.1 の発表が、クロスプラットフォーム 3D グラフィックスの迅速な技術革新を推進

2010 年 7 月 27 日(米国時間 7 月 26 日) - 米ロサンゼルス、SIGGRAPH 2010 - オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 仕様の策定と開発支援を行う Khronos™ Group (クロノス・グループ、以下: クロノス)は、ロイヤリティ無料のクロスプラットフォーム 2D/3D グラフィックス API として幅広く採用されている「OpenGL®」の最新バージョン「OpenGL 4.1」を発表しました。OpenGL 4.1 はこの 2 年間で 6 度目のバージョンアップです。OpenGL 4.1 は、グラフィックス・デベロッパが広範囲な OS 及びプラットフォーム上で、最先端の GPU 機能への容易なアクセスを可能とするために、従来の OpenGL コードへの下位互換性の保持サポートを維持しています。

OpenGL 4.1 は、クロノスの OpenGL ARB(Architecture Review Board)ワーキング・グループによって仕様策定され、OpenGL シェーディング言語への GLSL 4.10 アップデートをはじめ、数多くの拡張機能を統合して、ロイヤリティ無料の OpenGL API として提供します。OpenGL 4.1 の仕様は、クロノスの Web サイトからダウンロード入手いただけます(<http://www.opengl.org/registry>)。

また、クロノスはアプリケーション・デベロッパが過去世代の GPU ハードウェア上で、より多くの OpenGL 4.1 コア機能を使用可能とすると共に、最大限のフレキシビリティと多くのプラットフォームでの使用を実現する、ARB エクステンションを同時に発表しました。

OpenGL 4.1 の主な新機能

- モバイル及びデスクトップ・プラットフォーム間のポーティングを容易とする、OpenGL ES 2.0 との完全互換性
- リコンパイル時間節約のため、シェーダー・プログラム・オブジェクトのバイナリをクエリ/ロードする機能
- プログラミングのフレキシビリティのため、プログラム時でのプログラムを個別にバインディングする機能
- より高度なジオメトリ精度向けの、64 ビット浮動小数点コンポーネント・バーテックス・シェーダー入力
- 増大するレンダリングのフレキシビリティに対応する、レンダリング・サーフェス用マルチビューポート

OpenGL 4.1 に対応する新 ARB エクステンション

- OpenCL のインターオペラビリティ向け OpenGL シンク・オブジェクトと OpenCL イベント・オブジェクトのリンク
- 増大するレンダリング・フレキシビリティに対応する、フラグメント・シェーダー内のステンシル・バリュー設定
- WebGL アプリケーションなどの動作時に、ロバスト性を強化する機能
- 拡張エラーや警告メッセージ受信のための、コールバック構造

Jon Peddie Research 創業者で代表を務める Jon Peddie 博士は、OpenGL 4.1 の発表に対しこうコメントしています。「クロノスは、幅広い分野のデベロッパ向けにビジョンを確実に届けており、OpenGL の継続的な進化は、ハイエンド・グラフィックスの進化に戦略をもたらします。OpenGL 4.1 が新たにサポートする 3D 機能と同じく重要な

Khronos Group 発表ニュースリリースの抄訳

は、OpenCL 及び OpenGL ES 2.0 との強固な関連性を実現したことで、これはクロノス API エコシステム強化のうえで、極めて注目すべき発表です。」

OpenGL ARB ワーキング・グループ・チェアで、NVIDIA で Core OpenGL シニア・マネージャを務める Barthold Lichtenbelt はこうコメントしています。「OpenGL 4.0 からわずか 5 ヶ月後に発表された OpenGL 4.1 は、高性能 GPU アクセラレーション向けの市場創造に向けた協力的進化が鈍化していないことを示しています。ARB は、バージョンアップにおける下位互換性に関して真剣に取り組んでいます。これは、デベロッパが自身の計画に基づいて新しい機能を取り入れることを可能とします。また、NVIDIA が GeForce GTX 400 シリーズを含む Fermi ベースのグラフィックス・アクセラレータ向けに、私たちのデベロッパサイト上で OpenGL 4.1 ドライバを SIGGRAPH 会期中に発表することを嬉しく思います。」

AMD でソフトウェア担当コーポレート・バイス・プレジデントを務める Ben Bar-Haim 氏はこうコメントしています。「AMD は OpenGL 4.1 の発表を祝福します。私たちは、オープンな標準に対してコミットしており、OpenGL 及び OpenGL 4.1 に対してもドライバの発表でサポートする予定です。ARB の、グラフィックス標準の仕様策定や更新作業に対する確実な歩みは、グラフィックス分野の健全な発展をもたらすものであり、AMD は ARB に貢献できることを誇りに思います。」

Graphic Remedy で CTO を務める Yaki Tebeka 氏はこうコメントしています。「Graphic Remedy は、クロノス OpenGL ワーキング・グループの一員として、OpenGL のデバッグやプロファイル機能策定という重要な作業に関わっていることを誇りに思います。私たちは、OpenGL 4.1 の発表のみならず、新しいエラー及び警告のメカニズムを素晴らしいと思います。Graphic Remedy は、プロフェッショナル OpenGL デバッグ、プロファイラ、メモリ・アナライザである gDEDebugger GL を通して、OpenGL デベロッパ・コミュニティに対するサポートを約束します。gDEDebugger GL は企業・個人ユーザを問わず、OpenGL API を最大限活用し、現在及び将来のグラフィックス・ハードウェアのレンダリング能力を最大限活動可能とします。」

TransGaming の創立者で CTO を務める Gavriel State 氏はこうコメントしています。「私たちは、OpenGL 4.1 の発表を歓迎します。プログラムのバイナリ・ローディングや、個別のシェーダー・オブジェクトへのサポートといった新機能は、TransGaming や他の ISV にとって、OpenGL プラットフォームでの先進ゲーム開発に極めて価値あるものです。」

SIGGRAPH 会期中のクロノス BOF

OpenGL BOF

日時: 7月28日(火)、5:15 pm – 7:15 pm

会場: Wilshire Grand Hotel Room: Los Angeles

COLLADA BOF

日時: 7月27日(火)、1:00 pm - 3:00 pm

会場: コンベンションセンター Room 402A

OpenCL BOF

日時: 7月27日(火)、4:00 pm - 6:00 pm

Khronos Group 発表ニュースリリースの抄訳

会場: コンベンションセンター Room 402A

Mobile API BOF

日時: 7月29日(木)、1:00 pm - 3:00 pm

会場: コンベンションセンター Room 402A

WebGL BOF

日時: 7月29日(木)、4:00 pm - 6:00 pm

会場: コンベンションセンター Room 402A

OpenGL について

OpenGL®は、デスクトップ 2D/3D グラフィックスに業界内でもっとも幅広く採用されている API で、ウィンドウ・システム、OS に依存することなく、またネットワーク・トランスペアレントであり、さまざまなプラットフォーム向けアプリケーションの開発に貢献します。OpenGL は、PC ソフトウェア、ワークステーション、スーパーコンピューティング・ハードウェアのデベロッパが、CAD、コンテンツ制作、エネルギー、エンターテイメント、ゲーム開発、製造、医療およびバーチャルリアリティといった市場向けに高性能グラフィックス・ソフトウェア・アプリケーションの制作を可能とします。

###

Khronos Group について

The Khronos™ Group は、会員企業の会費によって運営されるコンソーシアムで、さまざまなプラットフォームやデバイス上で、ダイナミックなメディア・オーサリング/プレーバックを可能とする、ハードウェア/ソフトウェア製品市場の成長のため、OpenGL®, OpenGL ES™、WebGL™、EGL™、OpenCL™、OpenMAX™、OpenVG™、OpenSL ES™、OpenKODE™、COLLADA™といった、オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 開発の支援を行っています。会員企業は Khronos API 仕様開発に参画できるほか、一般公開前のさまざまな段階での投票、仕様ドラフトや順応テスト向けのアーリーアクセスを通して、最先端 3D グラフィックス・プラットフォームやアプリケーションの提供を推進可能です。最新情報は Web サイトで公開されています(www.khronos.org)。

Khronos, OpenKODE, WebGL, OpenVG, OpenSL ES and OpenMAX are trademarks of the Khronos Group Inc. OpenCL is a trademark of Apple Inc., COLLADA is a trademark of Sony Computer Entertainment Inc. and OpenGL is a registered trademark and the OpenGL ES and OpenGL SC logos are trademarks of Silicon Graphics International used under license by Khronos. All other product names, trademarks, and/or company names are used solely for identification and belong to their respective owners.

メディアの方のお問合せ先

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 090-4376-0123 (7月27日~29日、SIGGRAPH 2010) Email: kasai@miacis.com

ユーザ・読者の方のお問合せ先

クロノス・グループ 日本事務所

Email: khronos@miacis.com www.khronos.org www.khronos.jp